

VOLUNTEER FIRE CORPS



7



5



2



8



3



4



6



1

1火点を向け全力で走る第6分団第1班・土田郷志指揮者2円陣を組んで気合を入れる第1分団第5班3正確な動きで一番ホースを延長する第8分団第2班・佐方圭一郎1番員。出場9チームで最速タイム38秒台をたたき出して3位入賞を果たした4他を圧倒する小型ポンプ操法で優勝した第4分団第1班5ホースをかため火点を目指す第5分団第1班・中村辰也指揮者6息のあった連携で水管を延ばす第7分団第1班・白梅梯和2番員（左）と、森昭浩3番員（右）7土気旺盛な入場行進の第3分団8新入団員28人を代表して宣誓を述べる第9分団第1班・清村隆太団員

燃えろ消防魂

この町のごとく、ひとたび災害が発生すれば現場へと急行し、災害現場の最前線で献身的に活動を繰り広げる御船町消防団（米田則昭団長）郷土を守る防災組織の要として、地域住民からの期待と信頼は大きい。尊い命、大切な財産を守るため、代々「消防魂」は現代の団員たちへと受け継がれた。もちろん、厳しい訓練を重ねているからこそ団員たちの「消防魂」は熱く燃えている。4月4日、御船中学校グラウンドで開かれた御船町消防団通常点検。2年に一度の小型ポンプ操法にかけた団員たちの熱い一日をカメラで追った。

火点は 前方の標的
 水利は ポンプ右側後方 防火水槽
 手広めによる 二重巻きホース 一線延長
 定位につけ 操作始め よし



平成22年度 御船町消防団通常点検

平成22年度御船町消防団（米田則昭団長、427人）の通常点検が4月4日、御船中学校グラウンドで開催され、通常点検の部や小型ポンプ操法の部など、6部門で競われた。

式典では新入団員28人への辞令や、退団した35人の団員に感謝状の贈呈後、幼年消防クラブ（若葉・高木・上野保育園）が法被姿で元気いっぱい通常点検を披露した。続く通常点検では分団ごとに規律や機敏な動作を基準に上益城消防組合消防本部の厳正な審査が行われた。

午後から行われた小型ポンプ操法では、分団を代表する精鋭45人が出場。この日のために数カ月間にも及ぶ厳しい練習を重ねてきた団員たちは、指揮者の号令を合図に正確な動きでホースを延長し、放水までのタイムなどを競い合った。

結果、小型ポンプ操法で第4分団第1班が優勝、第9分団第4班が準優勝。この上位2チームは7月24日、山都町で開かれる上益城郡消防大会に町代表として出場する。通常点検など、上位結果は次のとおり。

▼通常点検の部

- 1 第9分団（小坂）
- 2 第3分団（水越）
- 3 第6分団（田代）

▼小型ポンプ操法の部

- 1 第4分団第1班（七滝）
- 2 第9分団第4班（小坂）
- 3 第8分団第2班（高木）

▼機器具点検の部

- 1 第6分団第2班（田代）
- 2 第1分団第3班（御船）
- 3 第4分団第1班（七滝）

▼機器具点検・総合の部

- 1 第4分団（七滝）
 - 2 第1分団（御船）
 - 3 第3分団（水越）
- ※第1分団（御船） 特別賞

▼年間出場率の部

- 1 第5分団（上野）
- 2 第2分団（滝尾）
- 3 第6分団（田代）

▼総合成績

- 1 第4分団（七滝）
- 2 第6分団（田代）
- 3 第9分団（小坂）



第9分団長
（小坂地区）
池田 亮



第8分団長
（高木地区）
中村 友美



第7分団長
（木倉地区）
田中 泰浩



第6分団長
（田代地区）
川上幸太郎



第5分団長
（上野地区）
吉田 高之



第4分団長
（七滝地区）
園田 徹



第3分団長
（水越地区）
内村 良二



第2分団長
（滝尾地区）
佐方 勝吉



第1分団長
（御船地区）
榎 建一



副団長
（御船全域）
内村 光宏



副団長
（御船全域）
石坂 浩秋



団長
（御船全域）
米田 則昭

防災の要

消防団幹部
12人の顔ぶれ

※カッコ内は管轄する地域